



さわやかな風が、新緑の草木をキラキラとゆらす季節になりました。

幼稚園では子どもたちのはじけるような笑顔があふれています。5月も行事やできごとがたくさんありました。その中で、子どもたちのいろいろな気づきや育ちが見られています。

ひがしいずようちえん

- 職員室だよ！ -



ひがしいず幼稚園 R 5・5・29

やねよいたかい こいのぼり～



5月5日は、こいのぼりを揚げたり、人形を飾ったりして、子どもたちが大きくなったことをお祝いし、これからもすくすく育ちますようにと願う子どもの日。園でも、子どもの日のパーティーを行いました。

幼稚園のリーダーのそら組さんの司会進行で、歌ったり、食推さんの話やクイズに耳を傾けたり、かしや餅（稲取での柏餅の呼び名）を食べたり…みんなで楽しく過ごしました。

年下の友達のために兜を作ってあげようというそら組さんの年長としての自覚（やる気、意欲）、兜をプレゼントしてもらった嬉しさ（感謝の気持ち）、柏餅を食べると「強くなる」と聞き、餡子がちょっと苦手といていた子も1口食べてみようとする姿が見られ、頑張る・挑戦する気持ちで、心が強くなりました。

これからも、行事を通して意味や由来も伝えていきたいと思います。



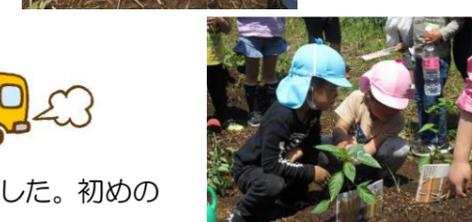
かしや餅の美味しさにっこり！



職推さんのお話を興味深く聞いたり、柏の葉を触らせてもらったり…



美味しい野菜がいっぱいとれるといいね！



そら組さんとにし組さんがペアになり、夏野菜を植えました。きゅうり、ピーマン、トマト、ミニトマト、なす…畑に植えられた苗に、毎朝、声をかけ合い水やりをしています。「小さい緑の丸いのが…」とトマトの赤ちゃんを発見したり、小さな変化に一喜一憂する子どもたち。生長を楽しみたいと思います。

芋さしでは、熱小4年生が手をつないでくれて芋畑へ。「何の野菜が好きなの？」「これ、焼き芋になるお芋なんだよ」と、優しく声をかけてくれるお兄さん、お姉さんと、すっかり仲良くなっていました。夏野菜、さつまいも…収穫が楽しみです！



黄色い園バスさん…ありがとう！

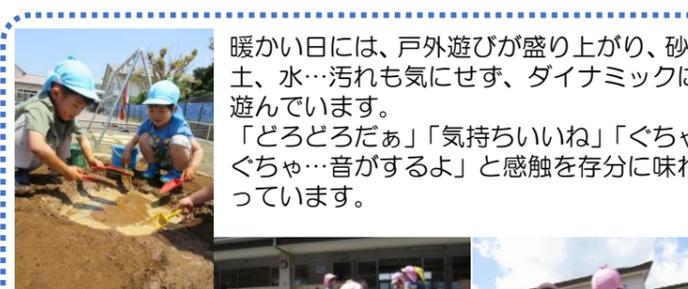


熱川幼稚園と双葉幼稚園が統合した平成20年から走り出した黄色の園バス。毎日の登降園、園外保育、交流保育で多くの子どもたちを乗せ、多くの思い出を作ってきました。初めの頃は、一度では乗り切れないくらいの子どもの人数がいたことを思い出します。

そんな初代の園バスとお別れの日。みんなを乗せ、園庭をぐるっと回ってもらい、バスに「ありがとうございました」とお礼を伝え、別れを惜しみました。

そして翌々日。今度はピカピカの新しい園バスが園庭に登場しました。稲取、白田、片瀬の子どもたちは朝から乗車していたので「朝も乗ってきた」と自慢げな様子。園バスに描かれているイラストを見て「かわいい♡」とすぐに大好きになり、今回もみんなを乗せ、園庭をぐるぐる走ってもらいました。これから、新しい園バスでいろいろなところに出かけ、たくさんの思い出を作りたいと思います。

園バスのデザインを快く引き受けていただいた、安藤さくらちゃんのお母さん。可愛くて乗りたくなる、乗るのが楽しくなる園バスの絵をありがとうございました。



暖かい日には、戸外遊びが盛り上がり、砂、土、水…汚れも気にせず、ダイナミックに遊んでいます。「どろどろだぁ」「気持ちいいね」「ぐちゃぐちゃ…音がするよ」と感触を存分に味わっています。



園庭の隅に置いてあるプールを動かすとカエルを発見！「わー」「きゃー」子どもたちの声が園内に響き渡りました。

「動かないよ」「どうする？」「水がほしいんじゃない？」とみんなで頭を寄せ合い、いろいろな考えを出し合っていました。飼育ケースの中のカエルを見て、「狭そうだね」「かわいそう」その日のうちに近くの用水路に逃がしました。



お母さんたちも芝滑り！楽しそう！